

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

熊本県 菊池市

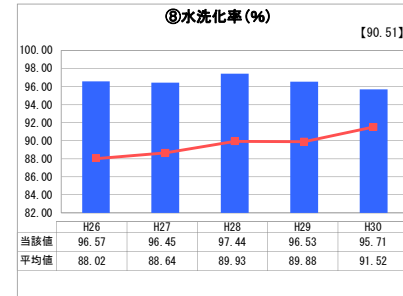
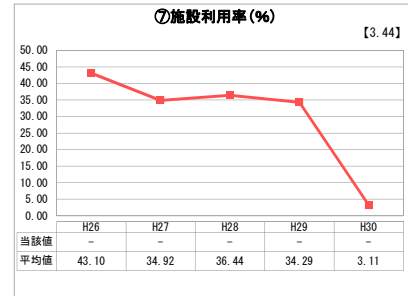
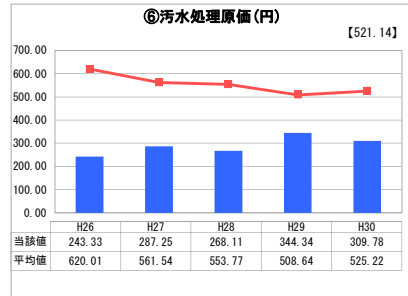
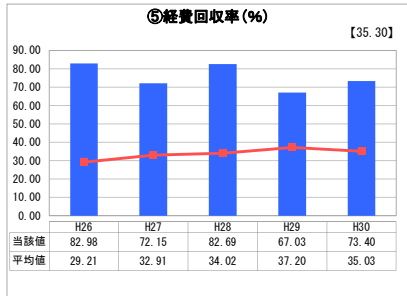
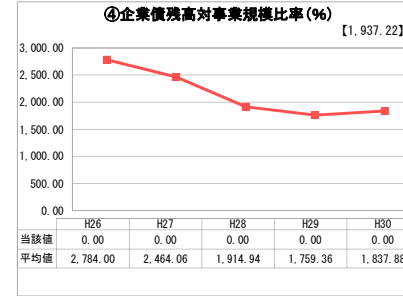
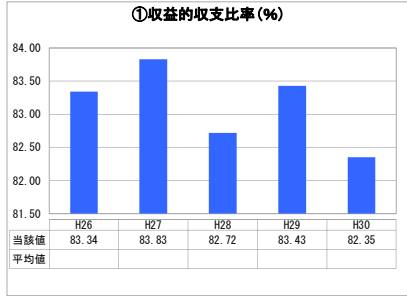
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.29	100.00	3,780

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,078	276.85	177.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
140	0.20	700.00

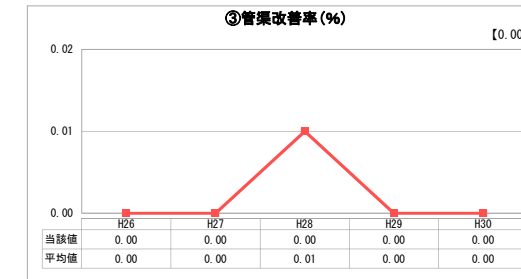
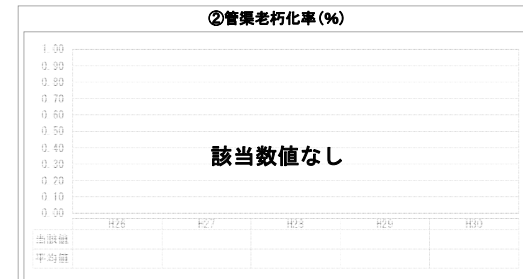
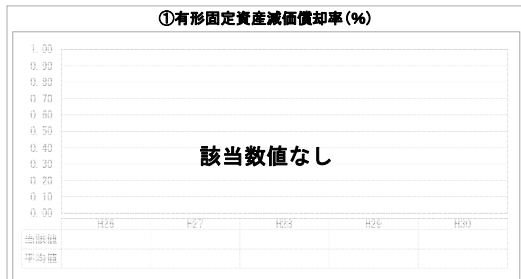
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は経年比較で若干減少したが、事業規模が小さいための変動と考える。  
 経費回収率は類似団体と比較した場合、高くなっているが経営が使用料収入で経費を賄っていない状況となっており、健全とは言えない。  
 しかし、対象世帯が少ない事業であるため、効率的に経営することができない。  
 汚水処理原価については、類似団体との比較では大変低くなっているが、本市での他事業と比べた場合、高くなっている。  
 今後も継続し経費削減に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始より18年程度経過しているが、管渠について耐用年数に達していないため、老朽化は見られない。  
 処理施設については、現在のところ改築更新の予定がないため、当面の間、現処理施設を維持管理し使用していくことになる。

## 全体総括

現在の経営状況として、経費回収率は類似団体と比べ高くなっているが、維持管理費も賄っていない状況となっており、健全とは言えない状況となっている。  
 しかし料金設定が、総務省の「下水道財政の在り方に関する研究会」で示されている金額と比較し高くなっていることや、事業の特性を考慮し、今後の料金改定は慎重に検討しなくてはならない。  
 したがって、今後も経費削減を意識した経営を行わなくてはならない。  
 経営戦略については平成28年度に作成済み。  
 見直しは、企業会計への移行がある令和2年度に行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。